

環境データブック 2021

マテリアルフロー

		環境指標	値	単位	
Inputs	原材料	有機溶剤以外(樹脂フィルム、化学薬品等)(単体)	173,989	ton	
		★有機溶剤購入量	47,648	ton	
	エネルギー	★電力購入量(グリーン電力を除く)	692,193	MWh	
		★グリーン電力購入量	83,559	MWh	
		★太陽光発電使用量	1,549	MWh	
		★蒸気購入量	4,211	ton	
		★温水購入量	4,406	GJ	
		★軽油・A重油購入量	2,804	kL	
		★LPG購入量	1,309	ton	
		★天然ガス・都市ガス購入量	2,682,693	GJ	
		★LNG購入量	34,472	ton	
		★ガソリン・灯油購入量	12,812	GJ	
	取水	★上水・工業用水	3,637,443	m ³	
		★地下水	2,181,513	m ³	
Outputs	大気排出物	★有機溶剤	1,951	ton	
		★CO ₂ 量	684,774	ton	
	廃棄物等	★廃棄物等排出量	128,962	ton	
		処理方法	★リサイクル量	107,105	ton
			最終処分量(埋立、単純焼却)	21,857	ton
	排水	★排水量	4,745,810	m ³	
		排水先	公共用水域	3,055,337	m ³
			下水	1,690,473	m ³
★汚濁物質(COD)排出量(公共用水域)		9.0	ton		
その他	★有機溶剤リサイクル量	15,607	ton		
	★水リサイクル量	1,073,157	m ³		
	水消費量	1,073,146	m ³		

環境効率(対売上)

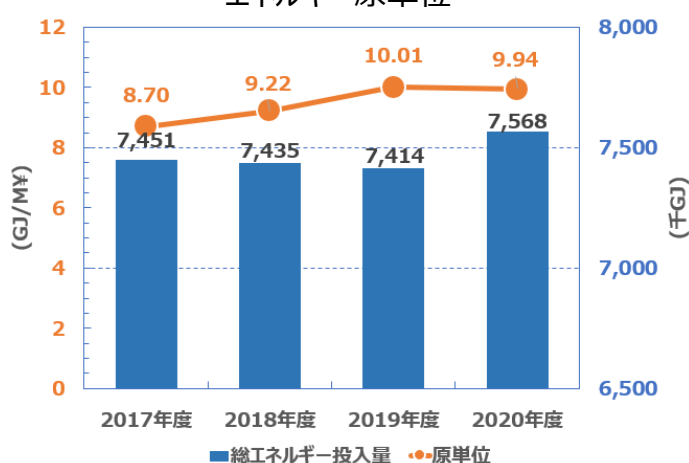
エネルギー原単位

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総エネルギー投入量	GJ	7,450,666	7,434,946	7,413,954	7,567,972★
売上高	M¥	856,262	806,495	741,018	761,320
原単位	GJ/M¥	8.70	9.22	10.01	9.94

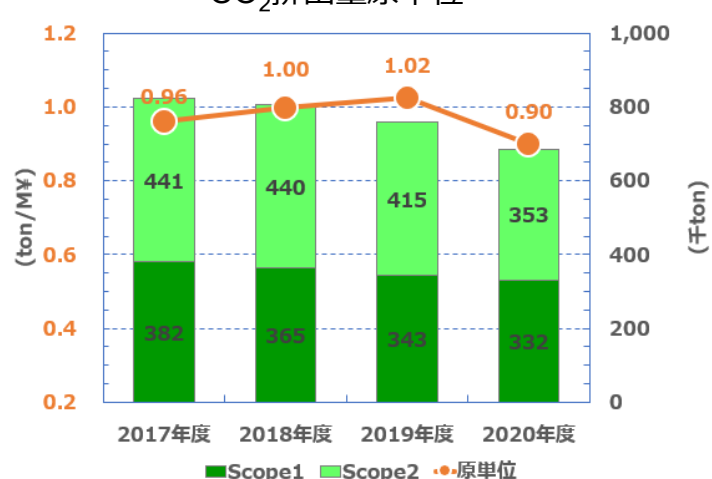
CO2排出量原単位

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
CO2排出量(Scope1)	ton	381,505	365,138	343,471	332,235★
CO2排出量(Scope2)	ton	441,311	440,377	415,432	352,539★
CO2排出量(合計)	ton	822,816	805,515	758,903	684,774
売上高	M¥	856,262	806,495	741,018	761,320
原単位	ton/M¥	0.96	1.00	1.02	0.90

エネルギー原単位



CO₂排出量原単位



環境指標の推移

1. 基本データ

□総エネルギー投入量 (単位: GJ)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	4,549,631	4,573,768	4,626,270	4,807,385
米州	531,691	499,856	449,438	391,514
欧州	475,170	484,678	473,469	482,878
アジア・オセアニア	1,894,174	1,876,644	1,864,776	1,886,195
合計	7,450,666	7,434,946	7,413,954	7,567,972★

□廃棄物等排出量 (単位: ton)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	68,214	67,258	65,802	70,840
米州	9,468	10,103	8,926	7,868
欧州	9,789	9,530	8,703	8,901
アジア・オセアニア	40,955	40,403	39,577	41,352
合計	128,426	127,294	123,008	128,962★

□CO2排出量(Scope1+2*) (単位: ton)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	512,355	494,404	463,724	399,809
米州	38,484	40,465	34,827	30,233
欧州	47,093	44,902	38,736	35,639
アジア・オセアニア	224,884	225,744	221,617	219,093
合計	822,816	805,515	758,903	684,774

□廃棄物等リサイクル率 (単位: %)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	98	99	98	99
米州	24	17	21	29
欧州	97	97	93	87
アジア・オセアニア	50	42	56	65
合計	77	75	79	83★

*1 Scope2は、マーケットベースで算出してあります。

□CO2排出量(Scope3)(単体) (単位: ton)

カテゴリー	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
購入した製品・サービス ^{*2}	396,698	389,128	325,581	499,853★
資本財	57,791	85,852	106,991	72,710
Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー活動	44,380	44,447	58,260	61,481★
輸送、配送(上流)	9,789	8,809	7,594	7,594
事業から出る廃棄物	36,103	34,548	27,428	29,530★
出張	790	801	812	833
雇用者の通勤	2,515	2,554	2,599	2,592
リース資産(上流)	-	-	-	-
輸送、配送(下流)	-	-	-	-
販売した製品の加工	-	-	-	-
販売した製品の使用	-	-	-	-
販売した製品の廃棄	74,536	71,579	53,061	61,509★
リース資産(下流)	-	-	-	-
フランチャイズ	-	-	-	-
投資	-	-	-	-
合計	622,602	637,717	582,326	736,102

*2 2020年度より、CO2排出量スコープ3カテゴリ1に適用する排出原単位を従来のカーボンフットプリントコミュニケーションプログラム基本データベースver.1.01(国内データ)によるものから、LCIデータベースIDEAv2(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)によるものに変更しました。

従来の排出原単位を使用して算定した2020年度のスコープ3カテゴリ1排出量は340,177tCO2です。
この排出量と排出原単位を変更した後の排出量の差異の主要因は、調達したポリエステルフィルムに適用する排出原単位の違い(従来はポリエステルフィルムの製造段階を対象とした排出原単位、変更後は原材料採掘段階からポリエステルフィルム製造段階までを対象した排出原単位)です。

□有害廃棄物排出量 (単位: ton)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	9,416	8,297	9,566	10,840
米州	1,186	1,092	1,249	1,983
欧州	620	697	1,131	1,034
アジア・オセアニア	15,184	14,637	12,820	13,134
合計	26,406	24,722	24,767	26,991★

□取水・水消費量・排水量 (単位: m³)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
取水量	6,959,266	6,835,869	6,417,173	5,818,956★
水消費量	1,096,709	1,170,273	1,202,623	1,073,146
排水量	5,862,557	5,665,596	5,214,550	4,745,810

□汚濁物質(COD)排出量/公共用水域 (単位: ton)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	9.3	9.7	11.6	8.5
米州	0	0	0	0
欧州	0	0	0	0
アジア・オセアニア	2.4	3.1	2.2	0.5
合計	11.7	12.8	13.8	9.0★

□大気排出量^{*3} (単位: ton)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
ばいじん	2.36	6.54	2.06	1.93★
NOx	224.8	161.0	154.7	138.4★
SOx	0.2	0.3	0.3	0.3★
有機溶剤	1,509	1,391	2,004	1,951

*3 ばいじん、NOx、SOxは単体、有機溶剤は連結。

*4 四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。

環境指標の推移

2. 気候変動関連の詳細データ

□CO2排出量(Scope1) (単位: ton)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	250,636	236,388	225,578	220,484
米州	14,407	16,282	14,414	12,278
欧州	42,857	40,809	33,756	28,825
アジア・オセアニア	73,605	71,659	69,724	70,648
合計	381,505	365,138	343,471	332,235★

□総エネルギー投入量(Scope1+2) (単位: MWh)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	1,263,786	1,270,491	1,285,075	1,335,385
米州	147,692	138,849	124,844	108,754
欧州	131,992	134,633	131,519	134,133
アジア・オセアニア	526,159	521,290	517,993	523,943
合計	2,069,629	2,065,263	2,059,432	2,102,214

□CO2排出量(Scope1) (単位: ton)

セグメント	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
インダストリアルテープ				178,450
オプトロニクス				131,537
ライフサイエンス				8,876
その他				13,372
合計				332,235★

□総エネルギー投入量(Scope1) (単位: MWh)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本				890,575
米州				66,604
欧州				91,778
アジア・オセアニア				272,973
合計				1,321,930

□CO2排出量(Scope2: ロケーションベース) (単位: ton)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本				205,502
米州				16,689
欧州				13,623
アジア・オセアニア				152,499
合計				388,312

□総エネルギー投入量(Scope2: 非再生可能エネルギー源) (単位: MWh)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本				395,449
米州				42,150
欧州				15,150
アジア・オセアニア				243,977
合計				696,725

□CO2排出量(Scope2: マーケットベース) (単位: ton)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本	261,719	258,016	238,146	179,324
米州	24,077	24,183	20,413	17,955
欧州	4,236	4,093	4,980	6,815
アジア・オセアニア	151,279	154,085	151,893	148,445
合計	441,311	440,377	415,432	352,539★

□総エネルギー投入量(Scope2: 再生可能エネルギー源) (単位: MWh)

国/地域	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本				49,361
米州				0
欧州				27,205
アジア・オセアニア				6,993
合計				83,559

□CO2排出量(Scope2: ロケーションベース) (単位: ton)

セグメント	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
インダストリアルテープ				117,530
オプトロニクス				242,004
ライフサイエンス				11,724
その他				17,054
合計				388,312

□総エネルギー投入量内訳(Scope1+2: 再生可能エネルギー源) (単位: MWh)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
購入電力				83,559
化石燃料の消費				0
購入蒸気・温水				0
太陽光発電使用量				1,549
合計				85,108

□CO2排出量(Scope2: マーケットベース) (単位: ton)

セグメント	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
インダストリアルテープ				97,923
オプトロニクス				227,688
ライフサイエンス				13,834
その他				13,094
合計				352,539★

□総エネルギー投入量内訳(Scope1+2: 非再生可能エネルギー源) (単位: MWh)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
購入電力				692,193
化石燃料の消費				1,320,381
購入蒸気・温水				4,533
合計				2,017,106

*) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。

環境指標の推移

□化石燃料消費量内訳 (単位：MWh)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
軽油・A重油				30,332
LPG				18,476
天然ガス・都市ガス				745,192
LNG				522,821
ガソリン・灯油				3,559
合計				1,320,381

□自社で生産したエネルギー量 (単位：MWh)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電気				77,905
熱				33,891
蒸気				1,268,014
冷却				0
合計				1,379,810

□社外から調達した再生可能電力量 (単位：MWh)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
水力発電由来				49,044
太陽光発電由来				805
風力発電由来				26,276
低CO2エネルギーミックス				7,434
合計				83,559

3. 水リスク関連の詳細データ

□取水量 (単位：ML)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本				3,920
米州				304
欧州				81
アジア・オセアニア				1,515
合計				5,819

□水消費量 (単位：ML)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本				609
米州				2
欧州				56
アジア・オセアニア				405
合計				1,073

□取水量内訳 (単位：ML)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
上水・工業用水				3,637
地下水				2,182
合計				5,819

□排水量 (単位：ML)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
日本				3,311
米州				301
欧州				24
アジア・オセアニア				1,109
合計				4,746

□排水量内訳 (単位：ML)

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
公共用水域				3,055
下水				1,690
合計				4,746

*) 四捨五入の関係で合計が一致しない場合があります。

環境データ算定基準

Nitto グループでは、開示情報の信頼性を高めるために外部の第三者機関による保証を受けています。
 本「環境データブック 2021」に掲載されている環境パフォーマンス指標のうち、★記載情報について保証を受けました。

1. 環境データの対象期間・データ収集の対象会社数

年度	対象期間	対象会社数	データカバー率(生産高基準)
2020	2020年4月~2021年3月	33	98%

2. 算定方法

2-1. エネルギー、CO₂、NO_x、SO_x 関連

指標(単位)	算定方法
総エネルギー投入量 単位: GJ	エネルギー購入量及び太陽光発電使用量に単位発熱量を乗じて算出 電力の単位発熱量は、3.6MJ/kWhを採用 エネルギー購入量には、「グリーン電力購入量」を含む 燃料の単位発熱量は、「エネルギー使用の合理化に関する法律施行規則」による
電力購入量 単位: MWh	Nitto グループ外から調達した電力の購入量を合算して算出 (グリーン電力を除く)
グリーン電力量購入量 単位: MWh	Nitto グループ外から調達したグリーン電力の購入量を合算して算出
太陽光発電使用量 単位: MWh	Nitto グループ内で発電した太陽光発電の使用量を合算して算出
蒸気購入量 単位: ton	Nitto グループ外から調達した蒸気購入量を合算して算出
温水購入量 単位: GJ	Nitto グループ外から調達した温水購入量を合算して算出
軽油・A重油購入量 単位: kL	Nitto グループ外から調達した軽油及びA重油購入量を合算して算出
LPG 購入量 単位: ton	Nitto グループ外から調達したLPG購入量を合算して算出
天然ガス・都市ガス購入量 単位: GJ	Nitto グループ外から調達した天然ガス及び都市ガス購入量を合算して算出
LNG 購入量 単位: ton	Nitto グループ外から調達したLNG購入量を合算して算出
ガソリン・灯油購入量 単位: GJ	Nitto グループ外から調達したガソリン及び灯油購入量を合算して算出

<p>CO₂ 排出量 Scope1：直接排出 Scope2：エネルギー起源 の間接排出 単位：ton</p>	<p>算定方法は The Greenhouse Gas Protocol 発行の「A Corporate Accounting and Reporting Standard Revised Edition」による 排出係数 a)エネルギー（燃料、蒸気）： 「地球温暖化対策推進法」に規定される係数 b)エネルギー（電力）： 電気事業者ごとの排出係数、国際エネルギー機関（IEA）の CO2 Emissions from Fuel Combustion で提供される地域ごとの係数、EPA（United States Environmental Protection Agency）の Emissions & Generation Resource Integrated Database（eGRID）で提供される地域ごとの係数、もしくはベトナム天然資源環境省の公表する係数による c)敷地内で燃焼される工程材料（溶剤）： 溶剤の燃焼反応を想定した当社が定める係数 d)敷地内で燃焼される工程材料（廃棄物）： 「地球温暖化対策推進法」に規定される係数</p>																																										
<p>CO₂ 排出量 Scope3：その他の間接排出 単位：ton</p>	<p>算定方法は環境省・経済産業省(日本)発行の「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン ver.2.3」による 排出係数は以下のデータベースによる a) サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース ver.3.1 b) IDEA v2.3 (サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)</p> <table border="1" data-bbox="480 1160 1417 2130"> <tr> <td>1</td> <td>購入した製品・サービス</td> <td>・Σ {原材料の種別購入重量×CO₂ 排出原単位}</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>資本財</td> <td>・設備投資額×CO₂ 排出原単位</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>エネルギー関連活動</td> <td>・Σ {エネルギー種別購入量×CO₂ 排出原単位}</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>輸送、配送（上流）</td> <td>省エネ法(荷主に係る措置)にもとづき算定</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>事業から出る廃棄物</td> <td>・Σ {廃棄物の種類別排出量×CO₂ 排出原単位}</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>出張</td> <td>・従業員数×CO₂ 排出原単位</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>雇用者の通勤</td> <td>・Σ {拠点別の従業員数×CO₂ 排出原単位×年間稼働日数}</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>リース資産（上流）</td> <td>・全て Scope1,2 に計上済みであるため、算定除外</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>輸送、配送（下流）</td> <td>・「輸送、配送（上流）」に含むため、算定除外</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>販売した製品の加工</td> <td>・様々な中間製品を製造しており、顧客での加工実態を把握する事が困難なため、算定除外</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>販売した製品の使用</td> <td>・様々な中間製品を製造しており、顧客での加工後の最終製品を把握する事が困難なため、算定除外</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>販売した製品の廃棄</td> <td>・製品出荷量(プラスチック製品)×CO₂ 排出原単位</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>リース資産（下流）</td> <td>・該当なし</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>フランチャイズ</td> <td>・該当なし</td> </tr> </table>	1	購入した製品・サービス	・Σ {原材料の種別購入重量×CO ₂ 排出原単位}	2	資本財	・設備投資額×CO ₂ 排出原単位	3	エネルギー関連活動	・Σ {エネルギー種別購入量×CO ₂ 排出原単位}	4	輸送、配送（上流）	省エネ法(荷主に係る措置)にもとづき算定	5	事業から出る廃棄物	・Σ {廃棄物の種類別排出量×CO ₂ 排出原単位}	6	出張	・従業員数×CO ₂ 排出原単位	7	雇用者の通勤	・Σ {拠点別の従業員数×CO ₂ 排出原単位×年間稼働日数}	8	リース資産（上流）	・全て Scope1,2 に計上済みであるため、算定除外	9	輸送、配送（下流）	・「輸送、配送（上流）」に含むため、算定除外	10	販売した製品の加工	・様々な中間製品を製造しており、顧客での加工実態を把握する事が困難なため、算定除外	11	販売した製品の使用	・様々な中間製品を製造しており、顧客での加工後の最終製品を把握する事が困難なため、算定除外	12	販売した製品の廃棄	・製品出荷量(プラスチック製品)×CO ₂ 排出原単位	13	リース資産（下流）	・該当なし	14	フランチャイズ	・該当なし
1	購入した製品・サービス	・Σ {原材料の種別購入重量×CO ₂ 排出原単位}																																									
2	資本財	・設備投資額×CO ₂ 排出原単位																																									
3	エネルギー関連活動	・Σ {エネルギー種別購入量×CO ₂ 排出原単位}																																									
4	輸送、配送（上流）	省エネ法(荷主に係る措置)にもとづき算定																																									
5	事業から出る廃棄物	・Σ {廃棄物の種類別排出量×CO ₂ 排出原単位}																																									
6	出張	・従業員数×CO ₂ 排出原単位																																									
7	雇用者の通勤	・Σ {拠点別の従業員数×CO ₂ 排出原単位×年間稼働日数}																																									
8	リース資産（上流）	・全て Scope1,2 に計上済みであるため、算定除外																																									
9	輸送、配送（下流）	・「輸送、配送（上流）」に含むため、算定除外																																									
10	販売した製品の加工	・様々な中間製品を製造しており、顧客での加工実態を把握する事が困難なため、算定除外																																									
11	販売した製品の使用	・様々な中間製品を製造しており、顧客での加工後の最終製品を把握する事が困難なため、算定除外																																									
12	販売した製品の廃棄	・製品出荷量(プラスチック製品)×CO ₂ 排出原単位																																									
13	リース資産（下流）	・該当なし																																									
14	フランチャイズ	・該当なし																																									

	15	投資	・該当なし
ばいじん大気排出量 単位：ton	排ガス中に含まれるばいじんの濃度に、排ガスを乗じて算出		
NOx 大気排出量 単位：ton	排ガス中に含まれる窒素酸化物の濃度に、排ガスを乗じて算出		
SOx 大気排出量 単位：ton	排ガス中に含まれる硫黄酸化物の濃度に、排ガスを乗じて算出		

2-2. 水関連

指標（単位）	算定方法
取水量 単位：m3	上水・工業用水の購入量、ならびに敷地内で採水した地下水の量を合算して算出
上水・工業用水量 単位：m3	Nitto グループ外から調達した生活用途で使用できる水質の水、ならびに生活用途に向かない水質の水の購入量を合算して算出
地下水量 単位：m3	Nitto グループ内で採水した地下水量を合算して算出
水リサイクル量 単位：m3	Nitto グループ内で再利用を目的として貯留された雨水および再生水を合算して算出 * 日東電工(株)尾道事業所、亀山事業所及び日東精密回路技術(深圳)有限公司の実績
排水量 単位：m3	Nitto グループから公共用水域及び下水道等へ排出された水量を合算して算出。排水量を計測していない拠点に関しては、取水量を排水量とみなす
汚濁物質（COD）排出量 単位：ton	排水中に含まれる化学的酸素要求量(COD)の濃度に、排水量を乗じて算出。規制により、濃度測定義務のある拠点のみを集計
水消費量 単位：m3	取水量から排水量を控除して算出

2-3. 有機溶剤関連

指標（単位）	算定方法
有機溶剤購入量 単位：ton	Nitto グループ外から調達した次の有機溶剤購入量を合算して算出 トルエン、酢酸エチル、カクタスソルベント、ジメチルホルムアミド、イソプロピルアルコール、ヘキサン * 2017 年度までは、上記の有機溶剤以外を一部含んでいたが、2018 年度より上記の有機溶剤に限定した
有機溶剤リサイクル量 単位：ton	Nitto グループ内で再利用を目的として精製された有機溶剤量を合算して算出
有機溶剤大気排出量 単位：ton	Nitto グループから大気へ排出された次の有機溶剤量を有機溶剤濃度に排ガスを乗じて算出し、合算して算出。一部事業所は有機溶剤購入量から推計している トルエン、酢酸エチル、カクタスソルベント、ジメチルホルムアミド、イソプロピルアルコール、ヘキサン * 2017 年度までは、上記の有機溶剤以外を一部含んでいたが、2018 年度より上記の有機溶剤に限定した

2-4. 廃棄物関連

指標 (単位)	算定方法
廃棄物等排出量 単位：ton	Nitto グループ外の専門業者に処理を委託した廃棄物(有害廃棄物を含む)及び有価物の重量を合算して算出
廃棄物等リサイクル量 単位：ton	廃棄物等排出量の内、処理の際にサーマルリサイクル及びマテリアルリサイクルされた廃棄物と有価物の重量を合算して算出
廃棄物等リサイクル率 単位：%	廃棄物等リサイクル量÷廃棄物等排出量で算定
有害廃棄物排出量 単位：ton	Nitto グループ外の専門業者に処理を委託した各国の規制で定められた有害廃棄物の重量を合算して算定

第三者保証



独立した第三者保証報告書

2021年6月28日

日東電工株式会社
代表取締役 取締役社長 高崎 秀雄 殿

KPMG あずさサステナビリティ株式会社
大阪市中央区瓦町三丁目6番5号

取締役

松尾 章 喜

当社は、日東電工株式会社(以下、「会社」という。)からの委嘱に基づき、会社が作成した環境データブック2021(以下、「データブック」という。)に記載されている2020年4月1日から2021年3月31日までを対象とした★マークの付されている環境パフォーマンス指標(以下、「指標」という。)に対して限定的保証業務を実施した。

会社の責任

会社が定めた指標の算定・報告基準(以下、「会社の定める基準」という。データブックに記載。)に従って指標を算定し、表示する責任は会社にある。

当社の責任

当社の責任は、限定的保証業務を実施し、実施した手続に基づいて結論を表明することにある。当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」及び ISAE3410「温室効果ガス情報に対する保証業務」に準拠して限定的保証業務を実施した。

本保証業務は限定的保証業務であり、主としてデータブック上の開示情報の作成に責任を有するもの等に対する質問、分析的手続等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務における手続と比べて、その種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- データブックの作成・開示方針についての質問及び会社の定める基準の検討
- 指標に関する算定方法並びに内部統制の整備状況に関する質問
- 集計データに対する分析的手続の実施
- 会社の定める基準に従って指標が把握、集計、開示されているかについて、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施
- リスク分析に基づき選定した 2 事業所に対する現地往査の代替的な手続としての質問及び証拠等の文書の閲覧
- 指標の表示の妥当性に関する検討

結論

上述の保証手続の結果、データブックに記載されている指標が、すべての重要な点において、会社の定める基準に従って算定され、表示されていないと認められる事項は発見されなかった。

当社の独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。

当社は、国際品質管理基準第 1 号に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

以上